



P

Last Updated: June 20, 2007

[parameter \(ccn application\)](#)

[parameter \(ccn subsystem edbs dbprofile\) : IVR のみ](#)

[purge notification \(ccn reporting historical\)](#)

[purge purge-capacity \(ccn reporting historical\)](#)

[purge schedule \(ccn reporting historical\)](#)

[purge warning-capacity \(ccn reporting historical\)](#)

parameter (ccn application)

CCN アプリケーションパラメータの値を設定するには、Cisco Unity Express アプリケーション設定モードで **parameter** コマンドを使用します。このコマンドには **no** 形式はありません。

parameter *parameter-name* "value"

シンタックスの説明

parameter-name	値を設定するパラメータを指定します。これらのパラメータは、アプリケーションスクリプトで指定されます。
"value"	パラメータの値を指定します。値は、二重引用符で囲む必要があります。

コマンドモード

アプリケーション設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン

aa.aef スクリプト用に設定できるパラメータを次に示します。

- welcomePrompt : デフォルトは AAWelcome.wav です。
- operExtn : デフォルトは none です。
- holidayPrompt : デフォルトは AAHolidayPrompt.wav です。
- businessOpenPrompt : デフォルトは AABusinessOpen.wav です。
- businessClosedPrompt : デフォルトは AABusinessClosed.wav です。
- businessSchedule : デフォルトは systemschedule です。
- disconnectAfterMenu : デフォルトは false です。
- allowExternalTransfers : デフォルトは false です。

aa_simple.aef スクリプト用に設定できるパラメータを次に示します。

- welcomePrompt : デフォルトは AAWelcome.wav です。
- operExtn : デフォルトは 0 です。
- MaxRetry : デフォルトは 3 です。
- holidayPrompt : デフォルトは AAHolidayPrompt.wav です。
- businessOpenPrompt : デフォルトは AABusinessOpen.wav です。
- businessClosedPrompt : デフォルトは AABusinessClosed.wav です。
- playExtensionsPrompt : デフォルトは AASPlayExtensions.wav です。
- extensionLength : デフォルトは 1 です。
- businessSchedule : デフォルトは systemschedule です。
- disconnectAfterMenu : デフォルトは false です。
- allowExternalTransfers : デフォルトは false です。

デフォルトの **parameter** コマンドを使用して、カスタム定義のパラメータを設定します。

例

次の例では、MaxRetry パラメータの値が 6 に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn application autoattendant
se-10-0-0-0(config-application)# parameter MaxRetry "6"
se-10-0-0-0(config-application)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
ccn application	ボイスメールや自動受付などの CCN アプリケーションを設定します。
default (ccn application)	アプリケーション パラメータを設定します。
show ccn application	CCN アプリケーションの詳細を表示します。

parameter (ccn subsystem edbs dbprofile) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR エンタープライズ データベース サブシステム (EDBS) の Java Database Connectivity (JDBC) ドライバ固有のパラメータを指定するには、Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定モードで **parameter** コマンドを使用します。JDBC パラメータを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

parameter name value

no parameter name value

シンタックスの説明	<i>name value</i> (オプション) JDBC ドライバ要件に一致する名前と値のペア。				
コマンドデフォルト	なし				
コマンドモード	Cisco Unity Express IVR EDBS プロファイル設定				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">Cisco Unity Express バージョン</th> <th style="text-align: left;">変更点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">3.0</td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">このコマンドが導入されました。</td> </tr> </tbody> </table>	Cisco Unity Express バージョン	変更点	3.0	このコマンドが導入されました。
Cisco Unity Express バージョン	変更点				
3.0	このコマンドが導入されました。				
使用上のガイドライン	<p><i>ccn subsystem edbs dbprofile</i> コマンドが正常に実行された後、オプションの parameter コマンドを使用して、JDBC ドライバ固有のパラメータを指定します。名前と値のペアは、JDBC ドライバ要件と一致している必要があります。各 JDBC ドライバは、独自のカスタマイズされた設定のセットを持つことができます。このコマンドを複数回使用して、複数のドライバプロパティを設定できます。</p>				
例	<p>次の例では、JDBC ドライバパラメータが設定されます。</p> <pre> se-10-0-0-0# config t se-10-0-0-0(config)# ccn subsystem edbs dbprofile mydbprofile Adding new Database profile se-10-0-0-0(config-dbprof)# parameter *headerchar *continuation se-10-0-0-0(config-dbprof)# end se-10-0-0-0(config)# exit </pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ</td> <td style="border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black;">Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ	Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。
コマンド	説明				
show ccn subsystem edbs dbprofile : IVR のみ	Cisco Unity Express IVR EDBS の設定内容を表示します。				

purge notification (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの自動データベース消去をユーザに通知する電子メール アドレスを設定するには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **purge notification** コマンドを使用します。この設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

purge notification email address *email-address*

no purge notification email address *email-address*

シンタックスの説明	email address <i>email-address</i>	1 つの電子メール アドレス、またはカンマで区切った複数の電子メールアドレス (255 文字まで)。このアドレスに、レポート履歴データベースが消去されたことをユーザに通知する電子メールが送信されます。
------------------	---	--

コマンドデフォルト デフォルトの電子メール アドレスは設定されていません。

コマンドモード Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	変更点
	バージョン	
	3.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 通知の送信に使用するデフォルトの電子メール アドレスはありません。電子メール アドレスが設定されていない場合、通知は送信されません。

複数の電子メール アドレスを設定する必要がある場合は、スペースを入れずにカンマで区切って、電子メール アドレスを続けて入力します。

例 次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースが自動的に消去されたことを管理者に通知するための電子メール アドレスが設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# purge notification email address name@domain.com
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ccn reporting historical	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

purge purge-capacity (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースを消去する消去しきい値（合計データベース容量に対するパーセンテージ）およびデータ消去までの期間を設定するには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **purge purge-capacity** コマンドを使用します。消去容量のパーセンテージおよび消去までの日数をデフォルト値に設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

purge purge-capacity percentage percent days-to-purge days

no purge purge-capacity percentage percent days-to-purge days

シンタックスの説明

percentage percent	合計データベース容量に対するパーセンテージで表した消去しきい値。有効な消去しきい値パーセンテージは、0～90 です。
days-to-purge days	データを消去するまでの日数。この日数を過ぎると、レポート履歴データベースからデータが消去されます。有効な日数は、0～999 です。

コマンドデフォルト

デフォルトの消去容量パーセンテージ値は 90 です。
消去までの日数のデフォルトは 7 です。

コマンドモード

Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express バージョン	変更点
3.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

許可される最大消去容量パーセンテージ値は 90 です。

例

次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの消去容量しきい値が 90 に、データ消去までの日数が 7 に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# purge purge-capacity percentage 90 days-to-purge 7
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ccn reporting historical	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

purge schedule (ccn reporting historical)

Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの毎日の消去実行時刻をスケジューリングするには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **purge schedule** コマンドを使用します。消去スケジュール時刻と消去までの日数をデフォルト値に設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

purge schedule time *hh:mm days-to-keep days*

no purge schedule time *hh:mm days-to-keep days*

シンタックスの説明

time <i>hh:mm</i>	レポート履歴データベースからデータを消去する毎日の時刻を 24 時間形式の時間と分 (hh:mm) で指定します。
days-to-keep <i>days</i>	データを消去するまでの日数を設定します。この日数を過ぎると、レポート履歴データベースからデータが削除されます。days-to-keep の値は、0 ~ 1000 です。

コマンドデフォルト

デフォルトでは、消去は 04:00 にスケジューリングされています。days-to-keep のデフォルト値は、Advanced Integration Module-Cisco Unity Express (AIM-CUE) モジュールでは 90、Network Module/Network Module-Extended Capacity (NM/NM-EC) モジュールおよび Network Module Enhanced-Cisco Unity Express (NME-CUE) モジュールでは 365 です。

コマンドモード

Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express バージョン	変更点
3.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

データベースの消去は、毎日、指定された時刻 (24 時間形式の「時間 : 分」) に実行されます。指定された *days-to-keep* 値 (日数) よりも長く保存されている履歴データは、データベースから消去されます。表 3 に、*days-to-keep* に指定できる最大値をまとめます。

表 3 days-to-keep の最大値

データベース	保存できる上限
AIM-CUE	90 日間またはデータベース使用量が 90%。
NM/NM-EC/NME-CUE	365 日間またはデータベース使用量が 90%。

例

次の例では、30 日より長く保存されているデータを毎日午前 4 時に消去するように、レポート履歴データベースが設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# purge schedule time 04:00 days-to-keep 30
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ccn reporting historical	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。

purge warning-capacity (ccn reporting historical)

データベースの容量が一定のパーセンテージに達したときに電子メール通知を送信するには、Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定モードで **purge warning-capacity** コマンドを使用します。

容量のパーセンテージに達すると、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの容量が上限に近づいていることをユーザに通知する電子メールが送信されます。警告容量パーセンテージをデフォルト値に設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

purge warning-capacity percentage percent

no purge warning-capacity percentage percent

シンタックスの説明	percentage percent	説明
		Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの合計容量に対するパーセンテージ。有効なパーセンテージは、0 ~ 95 です。

コマンドデフォルト デフォルトは、データベース容量の 85 % です。

コマンドモード Cisco Unity Express IVR レポート履歴設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express バージョン	変更点
	3.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 最大パーセンテージ値 (90 %) に達すると、電子メールによる警告が送信されます。

例 次の例では、Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの警告パーセンテージが 80 % に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn reporting historical
se-10-0-0-0(config-hrdm)# purge warning-capacity percentage 80
se-10-0-0-0(config-hrdm)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ccn reporting historical	Cisco Unity Express IVR レポート履歴データベースの設定内容を表示します。